



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



第39回上天草総合病院学会を開催しました

研修図書委員長 竹下 哲二



伝統恒例の院内学会を開催しました。以前は2月に行われていた当学会ですが、covid19ウイルス感染症の流行に伴い昨年より開催の時期と様式を変更しております。

今年の開催をいつにするかについて春に研修図書委員会で検討しました。その時点では「夏ごろにはパンデミックも収束していて以前のような集合形式での学会が可能だろう」と高をくくっていました。せっかく看護学校がきれいになって講堂も病院講堂より広いことから看護学校講堂を使って職員一同、会しての学会を開きたいと考え、看護学生が夏休みとなっている8月を開催時期に設定しました。

その期待をあざ笑うかのように、新型コロナウイルス感染の第7波は連日新規感染者数の記録が更新されるほどの猛威となってしまいました。開催一か月前の会議で満場一致で完全オンライン形式とされることが決定しました。昨年は発表者は病院講堂に集まりその場で生発表、参加者はオンラインでというハイブリッド形式で行ったのですが、音声のハウリングがひどくて参加者の不評を買ってしまいました。

その反省と、極力"密"を避けるべきという判断から完全オンラインとすることになりました。発表者にはあらかじめMicrosoft Powerpointの録画機能を使って録画録音していただき、学会当日はそれを流す。質疑応答はリアルタイムで音声及びチャット機能による文字入力という開催要項が決定されました。

13題の演題が申し込まれ、和田先生からcovid19関連1題、日本紅斑熱関連1題のエントリーがあったほか、眼科関連の演題が視能訓練士3題、4階病棟1題、医事課1題の計5題という構成となりました。事前収録には大きなメリットがあり、一つは発表時間がかなり守られる(守らない人もいましたが)ということであり、もう一つは発表者の緊張が少なくて聞き取りやすいということです。話すのが苦手という視能訓練士の岩崎留己さんは無料AI音声ソフトであるVOICE VOX四国めたんを使って録音しました。全国学会なら許されるかというレベルですが、院内学会ということでお許しいただきたいと思います。

発表の部門が多岐にわたったこと、音声のハウリングが全くなかったということ、チャットによる質問が緊張のレベルを下げたということなどから以前にもましてレベルの高い有意義な学会となりました。優秀演題賞の投票・集計もオンラインで即時に行うことができ、参加者にとっても参加した意義を感じられたのではないかと思います。集計の間、院長の脇田先生には学会発表のやり方の基本を講義してもらい、これも貴重な機会になったのではないかと思います。最優秀演題賞に輝いた介護老人保健施設きららの里ワードキーパーの松岡真寿美さんには、惜しめない拍手を送りたいと思います。ワードキーパーという職種からの学会発表は極めてまれで、内容も重要なことであり聞く人の関心は強かったと思います。10月に熊本である熊本県国保病院学会でもぜひ活躍していただきたいと思います。

キラキラきららに向けて

○ワードキーパー 松岡 真寿美、森 裕美子、濱邊 伊津枝

介護老人保健施設きららの里におけるワードキーパー部門の取組を紹介いたします。3人で、1階玄関から2階のデイケア、3階の入所施設、4階の浴室・ランドリーと広いエリアを日々きれいにし、利用者が気持ちよく生活できるように頑張っています。業務は、「掃除当番」と「洗濯当番」の形を基本としながら分担して行っています。



掃除当番

まず「掃除当番」ですが、2階の通所リハビリ・事務所・職員休憩室・更衣室、トイレ及び、3階の各居室・ホール・廊下・ステーションなど全フロアのゴミとオムツを収集し、職員駐車場奥のゴミ回収場所まで運搬します。雨の日は距離があるためとても大変です。また、全フロアと廊下・階段はシートモップで掃いた後、次亜塩素酸水で拭きあげています。廊下の手すりやエレベータ及び各トイレの便座もアルコールもしくは次亜塩素酸水で拭きあげ除菌を行います。トイレは2階の通所利用者用トイレ・職員用トイレを担当し掃除及びペーパー等の補充を行います。



洗濯当番

次に、「洗濯当番」の業務です。食事用エプロンの洗濯乾燥と、入浴開始に合わせて施設洗濯希望者の衣類の洗濯乾燥を行い、畳んだ後、各利用者のタンスへ整理収納します。入浴終了後は4階フロアと脱衣所の掃除機かけを行い、脱衣所は次亜塩素酸水で拭きあげます。浴室洗い場と排水溝及び排水版の清掃も行います。3階及び4階のトイレ掃除も担当し、除菌も行います。

業務を行う中で、気になっていたのは床の汚れです。原因は感染対策として3階は毎日、2階は週1回次亜塩素酸水で拭き掃除を行っているため、ワックス成分がなくなり床材に直接汚れが付着し、簡単な掃除では落ちなくなっていたことでした。もちろん光沢もなくなっていました。フロアクリーニングを業者へ依頼すると高額の為か、平成28年12月以降行われていませんでした。



ワックス掛け

そこで、床の汚れを落とすために作戦を立てました。近隣施設が床用ポリッシャーを購入して使用している情報と、何よりも業者委託の費用と比べると格安であることを事務長へ伝え、購入を検討しました。令和3年度の予算に計上し、早速令和3年4月には「Pタイル洗浄セット」を購入しました。機材購入翌月の5月より、3人でフロアクリーニングとワックス掛けを実施できるように勤務を調整し、各区画を少しずつ取り組んでいきました。当初は初めてなので機械に振り回される

場面もありましたが、しばらくすると操作にも慣れ、どんどん汚れが落ちきれいになっていきました。しかし、機械にも限界があり、隅っこや階段はどうしても手作業になるため大変なところもあります。長年蓄積された汚れで完全には落とせない箇所もありますが、施行前後で比べると全く違います。

以前業者に在籍したことがある職員より、ワックスは2度塗りがよいとのアドバイスがあり、次回からはもっと光沢がアップすると思います。最終的に令和3年度は、計1216.93㎡のフロアクリーニングとワックス掛けを実施しました。経済的効果を見ると、業者に委託した場合と「Pタイル洗浄セット」を使用した場合では、差額は約23万円となりました。ワックス・剥離剤ともに沢山残っているので、今後はやればやるほど経済的効果が期待できます。少しでも経営改善に貢献できたのではないかと思います。

今後も業者に負けないくらい技術を磨き、きららの里の環境美化向上を目指してまいります。



施行後

施行前

眼科疾患と食事の関連について調査しました

視能訓練士主任 蕪 龍大

「目は口ほどにものを言う」という感情の表現に関する諺があります。しかし臨床では、眼所見によって生活習慣病や高血圧症、神経系疾患などの体の病気が発見されることもあります。

「目は病気の窓」でもあるのです。

これまで食事と病気の予防との関連性について様々な研究結果が報告されていますが、眼科疾患のレビューは少ないです。なぜなら「目」単独起因の疾患よりも全身疾患から付随するものが多いからです。その中でも、天草地域は「翼状片」の有所見率が高いという報告があります(図1)。翼状片は未だ解明されていないことが多く、特に食事との関連性の報告はありません。



図1 翼状片

上天草市は第一次産業が盛んで、熊本県漁業経営体数は天草市に次いで第2位、天草地域だけで県内全体の過半数を占めています。普段から摂取している食物は地域産業に依存するため、これに伴って魚の消費量も上がります。

「もしかしたら、普段食べているものが翼状片にも影響していないかな?」という興味から調査を開始し、外来中の患者様の診察待ち時間の間にアンケートを記入してもらいました。結果は予想通り地域性があり、研究参加者の食事は、魚介類の摂取量が肉類よりも2倍高く、厚生労働省が公表している摂取量推移と逆転していました。栄養素の解析では、魚の煮つけや刺身の醤油による塩分摂取過多、野菜不足による食物繊維やミネラルの摂取過少が影響していないか疑いましたが、どれもハズレで苦労しました。試行錯誤の末、ようやく翼状片罹患者はビタミンAの摂取量が低いことが判明し、疫学研究として報告させていただきました

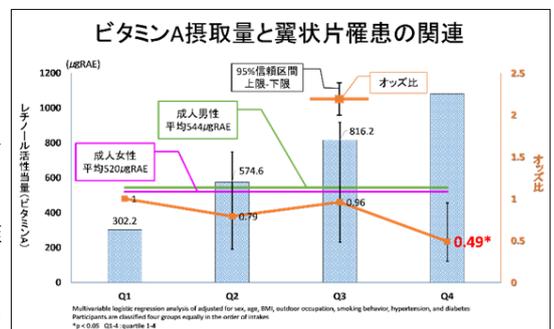


図2 多変量解析の結果

(図2)。ビタミンAを効率よく摂取するには野菜類よりもレバーなどの内臓肉が適しており、肉類食の少ない地域性であるが故の結果として矛盾しません。

日本は世界有数の長寿国ですが、一方で生活習慣病等の増加によって臥床生活を余儀なくされる例も課題となっています。健康づくりの3要素は「栄養」「運動」「休養」と言われており、特に「栄養=食事」は病気予防のために自ら意識できる自己管理法の一つです。規則正しく、根拠に基づいた食生活を心がけることで健康寿命の延伸に繋がり、病気の予防にも寄与できます。皆様も今一度、自らの食生活について考えてみる時間を設けてはいかがでしょうか。この研究が、翼状片に悩む方への一助となれば幸いです。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

研修会・勉強会の行事予定表

10月14日(金)	(学研・基礎研修) 輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション	15:00~ 当院6階講堂
10月21日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00~ 当院6階講堂
10月28日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30~ 当院6階講堂

編集後記

○<備蓄薬・薬のローリングストックについて>

台風などの災害シーズンになってまいりましたが、先日の台風14号の被害は有りませんでしたでしょうか? 当院は、目の前が海ですので、台風が西側を通るコースだと、海からの風と低気圧での海面上昇で高波の被害に遭う確率が高くなってしまいますが、今回は小潮だったのとコースが逸れた事で、被害は発生しませんでした。

話は変わりますが、防災に関する話題です。私は水害で被災した経験上、防災や備蓄を心がけています。また、通院される方にも、いつも服用する薬を、最低2週間分、災害時の為の備蓄薬として多めに持って置かれることをお勧めし、ローリングストックして頂いています。国内の薬メーカーの製造所の多くは、大阪から兵庫の海岸に沿って存在し、南海トラフ巨大地震で津波被害を受けると、薬の生産自体が止まってしまう事が予想されるからです。今回は、日々の診療で感じている、備蓄薬・薬のローリングストックについて書きました。被災しないのが一番ですね。(細川)

10月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 松岡 隼平	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 ※松田 圭史	林 広隆 大野 美保 松岡 隼平 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 ※高柳 宏史	細川 貴規 原田 裕士 松岡 隼平	
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	—	—	—	林 広隆	—	
※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。						
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	—	※荒木 智	脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典 ※檜村 哲生 (第1・3)	船曳 哲典	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	10/13(木)
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	—	—	—	江頭 翔	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	10/11(火)
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	中村 太造	※松野 健司	—	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 応援	林 広隆 (午後)	中村 太造 (午後)	応援	応援	松岡 隼平 (午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。